

第18回「食品添加物メディアフォーラム」講演要旨

演題：「真の消費者利益を目指して」

食のコミュニケーション円卓会議 代表 市川まりこ

1. はじめに

食のコミュニケーション円卓会議は、お茶の水女子大学で開催されていた社会人講座の受講生仲間呼びかけて2006年7月に結成した消費者団体です。「食」について、科学的な視点からの実りあるコミュニケーションのあり方を探り、その中から得られた成果を、意見や提案・提言などの形で社会に向けて発信していくことを目的としています。主婦、事業者、研究者、教育者、メディア、行政関係者など様々な立場のメンバーが、互いに学びあうという精神で集い、学習会や意見交換会、公開講座、見学会などの活動を展開しているところです。

2. 食品添加物は、かつて消費者運動の目玉だった！

- ・食品添加物は、私も嫌いでした・・・

3. 消費者団体のメッセージから垣間見る食の「安全」の考え方

- ① 清涼飲料水中のベンゼン問題
- ② BSE 問題
- ③ 防かび用農薬
- ④ 芽どめジャガイモ

4. (財)日本消費者協会の消費者力検定試験から垣間見る日本の消費者力

- ・正解率 22.1%の問題
- ・正解率 23.1%の問題

5. 消費者利益を問い直す

消費者ニーズと言われて被る消費者の不利益

- ① ファミリーマート社おにぎりの表示
- ② トランス脂肪酸の情報開示
- ③ 「無添加」表示の食品

6. おわりに

リスク評価は、暮らしの中で誰もがやっている、損をしないための生活の知恵なのですが、食品の安全性について、消費者は感情や気分流されがちです。それに安易に迎合した国の政策や事業者の販売戦略は、長い目で見れば消費者の利益に反します。科学的なリスク評価を基にした合理的な判断によって、社会全体の利益を向上させるべきです。それこそが、真の消費者利益に繋がっていくのではないのでしょうか。

食のコミュニケーション円卓会議

URL : <http://food-entaku.org/> e-mail : entaku000@yahoo.co.jp